

フロイント産業株式会社

2018年2月期第3四半期
スモールミーティング資料


(証券コード 6312)

2018年1月19日

第3四半期概況

- 連結ベースでは、4Qに偏重基調、期初ガイダンスに変更なし。
- F-VECTOR:3Q累計で営業赤字
F・ターボ:計画どおりに推移

※累計（単位:百万円）

	2018/2期	2017/2期	2018/2期		前年同期比増減	
	予想	第3四半期 実績	第3四半期 実績	年度進捗率	金額	%
売上高	21,000	14,767	13,745	65.5%	△1,021	△6.9
営業利益	2,100	1,441	1,152	54.9%	△288	△20.0
経常利益	2,100	1,486	1,174	55.9%	△312	△21.0
当期純利益	1,400	815	849	60.7%	+33	+4.1
一株純利益(円)	81.19	47.30	49.26	60.7%	+1.96	+4.1
設備投資	650	432	356	54.8%	△75	△17.5
減価償却費	360	239	265	73.6%	+25	+10.6
研究開発費	550	444	615	111.8%	+171	+38.5

機械部門:概況

- TABREXは、受注及び売上計上に計画対比遅延。
- 国内医薬向けはユーザー投資計画の相当に抑制。産機向けは販売堅調。
- 産機向けは、LiB案件で引合いが増加。

※累計（単位:百万円）

	2018/2期 予想	2017/2期 第3四半期		2018/2期 第3四半期	
	金額	金額	前同比	金額	前同比
受注高	-	12,243	+26.6%	8,747	△28.6%
受注残高	-	9,288	+16.5%	7,681	△17.3%
売上高	15,410	10,003	+15.5%	9,747	△2.6%
医薬品関連	-	8,228	+5.7%	8,338	+1.3%
産業関連	-	1,775	+102.7%	1,408	△20.7%
営業利益	-	1,154	+99.6%	910	△21.1%
為替(円/ドル: +は円安)	110.0	108.6	△12.4円/ドル	111.7	+3.1円/ドル

機械部門:グループ動向

- F-VECTORは低採算案件により、3Qまでは固定費の吸収が出来ず赤字。
- 錠剤印刷装置(TABREX.Rev)の受注・検収に遅延が生じている。

※累計（単位:百万円）

	2018/2期 予想	2017/2期 第3四半期		2018/2期 第3四半期	
	金額	金額	前同比	金額	前同比
売上高	15,410	10,003	+15.5%	9,747	△2.6%
単体	—	7,079	+31.2%	6,085	△14.0%
FREUND・VECTOR社	—	2,538	△10.3%	2,895	+14.0%
フロイント・ターボ社	—	1,030	+44.5%	1,143	+10.9%
営業利益					
【主要子会社】					
FREUND・VECTOR社	—	150	-	△71	-
フロイント・ターボ社	—	66	+657.7%	53	△19.9%
【地域別売上高】					
日本	—	7,040	+32.7%	5,883	△16.4%
北米・南米	—	1,906	△4.4%	1,795	△5.9%
欧州・アフリカ	—	424	△41.9%	1,287	+203.4%
中東・アジア・大洋州	—	632	△0.5%	781	+23.6%

化成品部門:概況

- GE薬向け医薬添加剤は微増。新規食品は大幅減少(計画に織り込み済み)。
- セグメントにおいては、プロダクトミックス改善であるが前期比同水準。
- 食品品質保持剤は、計画のとおりに進捗。

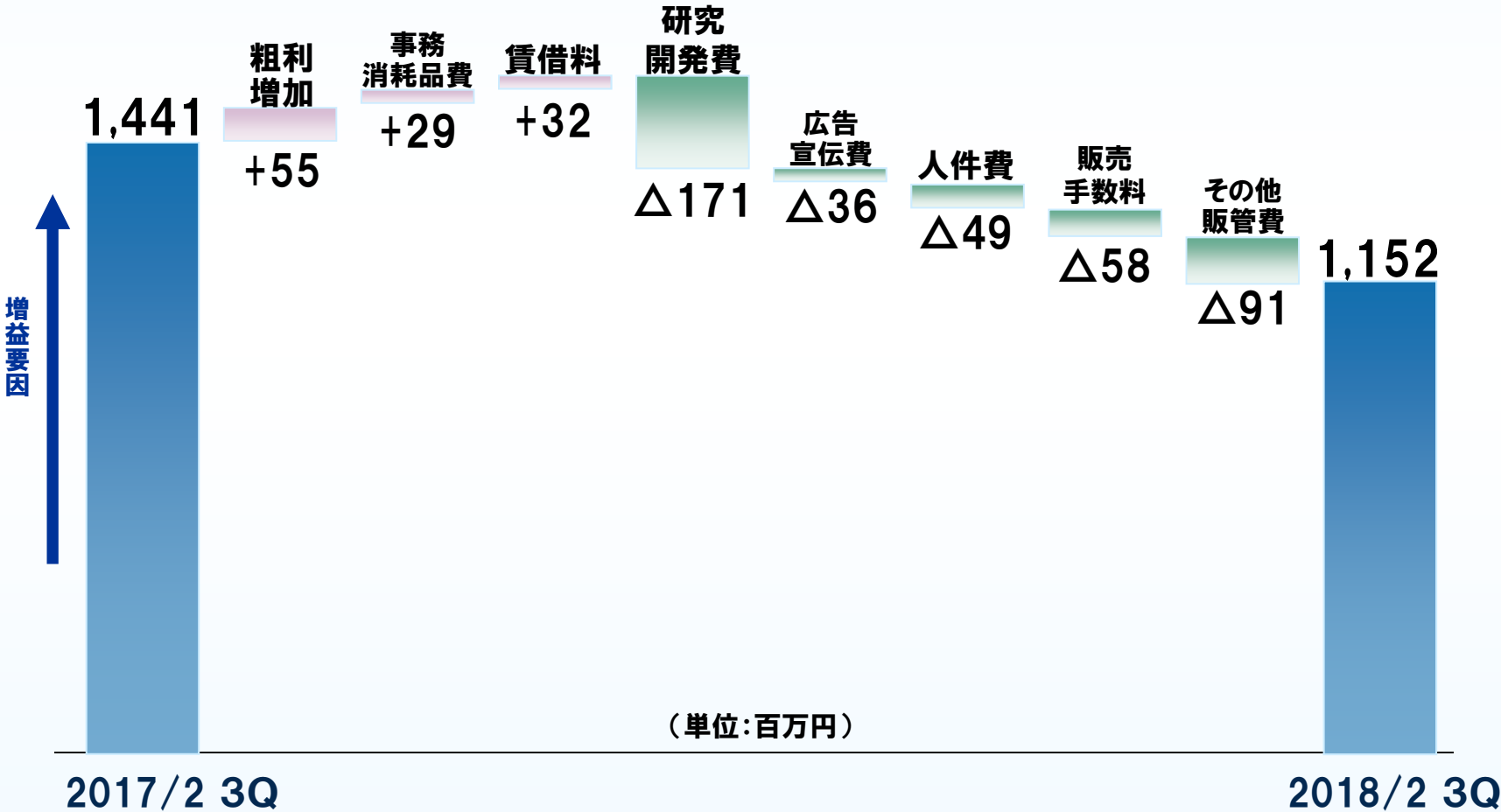
※累計(単位:百万円)

	2018/2期 予想	2017/2期 第3四半期		2018/2期 第3四半期	
	金額	金額	前同比	金額	前同比
売上高	5,590	4,763	+7.8%	3,998	△16.1%
医薬品添加剤	-	1,765	+10.3%	1,867	+5.8%
食品品質保持剤	-	1,441	△2.8%	1,555	+7.9%
新規食品	-	1,556	+16.7%	576	△63.0%
(輸出売上高)※1	-	78	△0.3%	110	+40.2%
営業利益	-	602	+48.7%	593	△1.4%

※1 仕向地:インド・韓国・台湾

営業利益増減分析

- 機械高収益案件の寄与もあるが、全体として減収・減益。

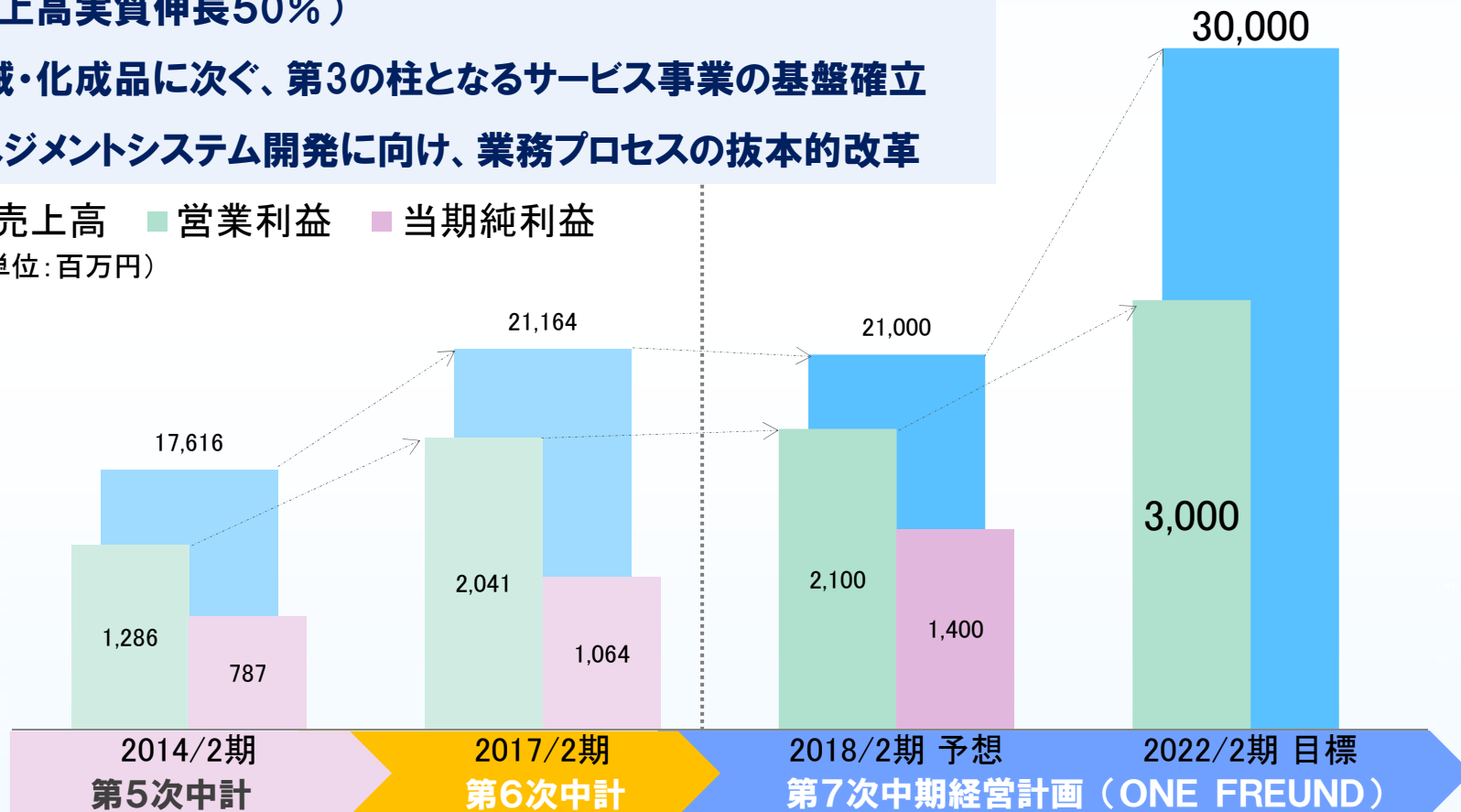


2022年2月期(第7次中計)目標

- 機械・化成品事業のさらなる収益力向上
(営業利益10%超水準へ)
- 既存製品に並ぶ将来の事業規模を見据えた、新規製品の開発
(売上高実質伸長50%)
- 機械・化成品に次ぐ、第3の柱となるサービス事業の基盤確立
- マネジメントシステム開発に向け、業務プロセスの抜本的改革

- 売上高 300億円
- 営業利益 30億円
- 営業利益率 10%
- ROE 8%以上

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益
(単位:百万円)



今期中の状況(重点取り組み)

- **TABREX Rev.(錠剤印刷装置)の検収**
- **ジェネリック医薬品向け営業強化**
- **海外受注強化策の深耕**
- **グループ技術の融合強化(Lib関連)**
- **メンテナンス事業の(来期より活動開始)**

【機械部門】 進捗状況

- 錠剤印刷機の安定的な立ち上げ。
- 戦略的新製品の投入。
- 海外マーケットの深耕。
- 当社の持つ製剤・粉体技術を他分野に応用展開。

医薬品関係

- 錠剤印刷機 (TABREX Rev.) の拡販 △
- インド、中国でのビジネス拡大 ○
- 連続生産装置 (GF) の商品化 △
- オペレーティングビジネス等の提案 △
- PLM事業のビジネスモデルの構築と事業化 △

産業関連

- リチウム電池業界向け装置分野に進出 △
- 新素材開発用途の装置開発 △
- 食品業界向け
高速流動層造粒装置の拡販 △

※ ○:成果が出ている △:着手中 ×:未着手

【化成品部門】 進捗状況

- 医薬品添加剤、品質保持剤の両部門で生産設備増強。
- 添加剤はインド市場開拓、保持剤はASEAN市場開拓。

医薬品添加剤

- 機械と添加剤の両営業による顧客情報共有の仕組化 △
- コア技術を駆使した製剤技術の充実 △
- 浜松事業所内に生産設備増設 ○
- 添加剤GMPの強化 ○
- 海外添加剤 △

食品品質保持剤

- 海外営業本部と連携した海外展開 △
- 菓子業界以外の食品市場開拓 △
- 品質管理システムの導入 △
- 脱酸素剤市場へ参入 △
- コスト低減 → 生産設備の増加 △

※ ○:成果が出ている △:着手中 ×:未着手

今中間期までの状況

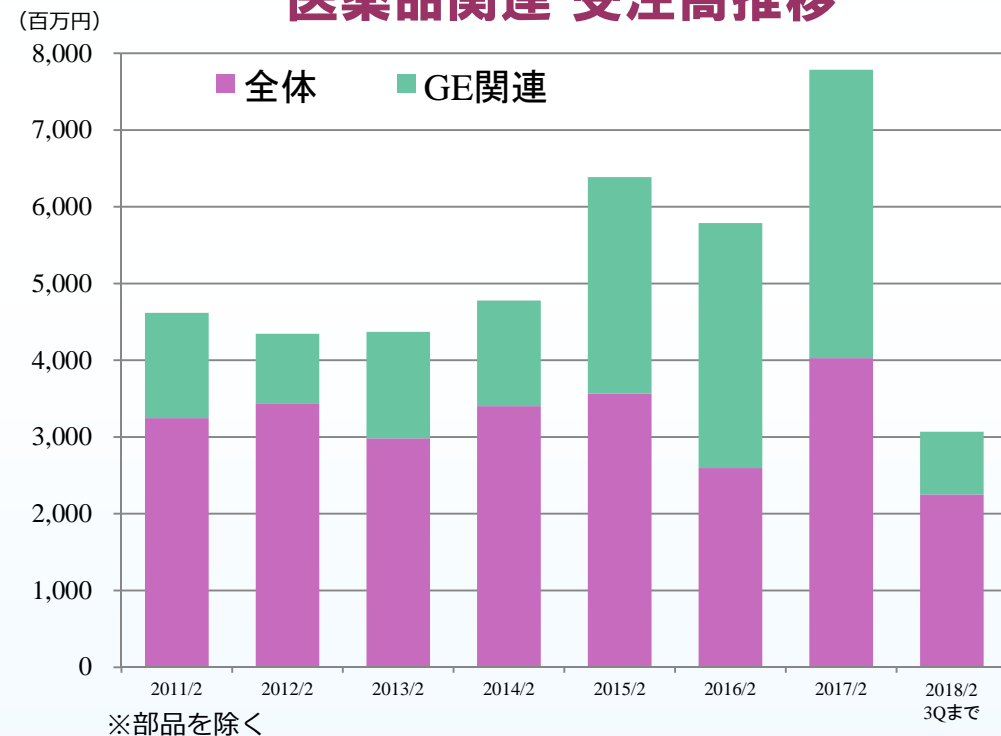
- 国内従来案件の設備抑制(減少)の新製品・産機分野で補いきれず。

機械受注の状況

(単位:百万円)

	2017/2期 3Q	2018/2期 3Q
受注高	3,836	2,762
医薬品関連	3,359	2,424
産業関連	596	337
受注残高	9,288	7,681
医薬品関連	8,424	6,827
産業関連	864	854

医薬品関連 受注高推移



二次電池の主部材製造装置への取り組み

● 正極材と負極材の製造装置を供給

・粉砕技術

電気的高活性の材料を所定の粒度分布の微(ナノ)粉体に粉砕する ... V-Turbo, A-Turbo

・コーティング技術

正・負極材料にコーティングを行い表面の改質を行う ... Airborne Coating System

・粉体圧密調整技術

正・負極材料に圧力を加え密度を上げる ... ローラーコンパクター



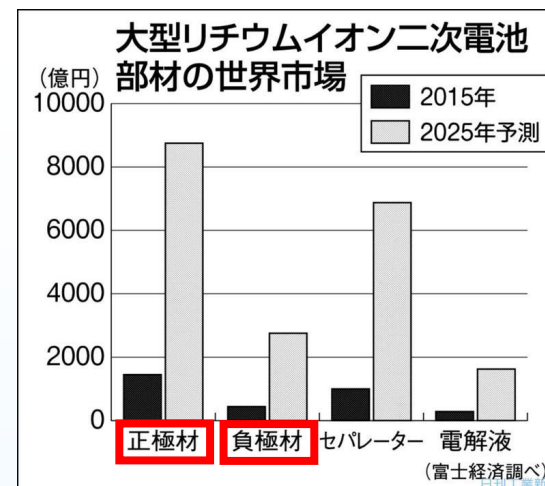
ローラーコンパクター



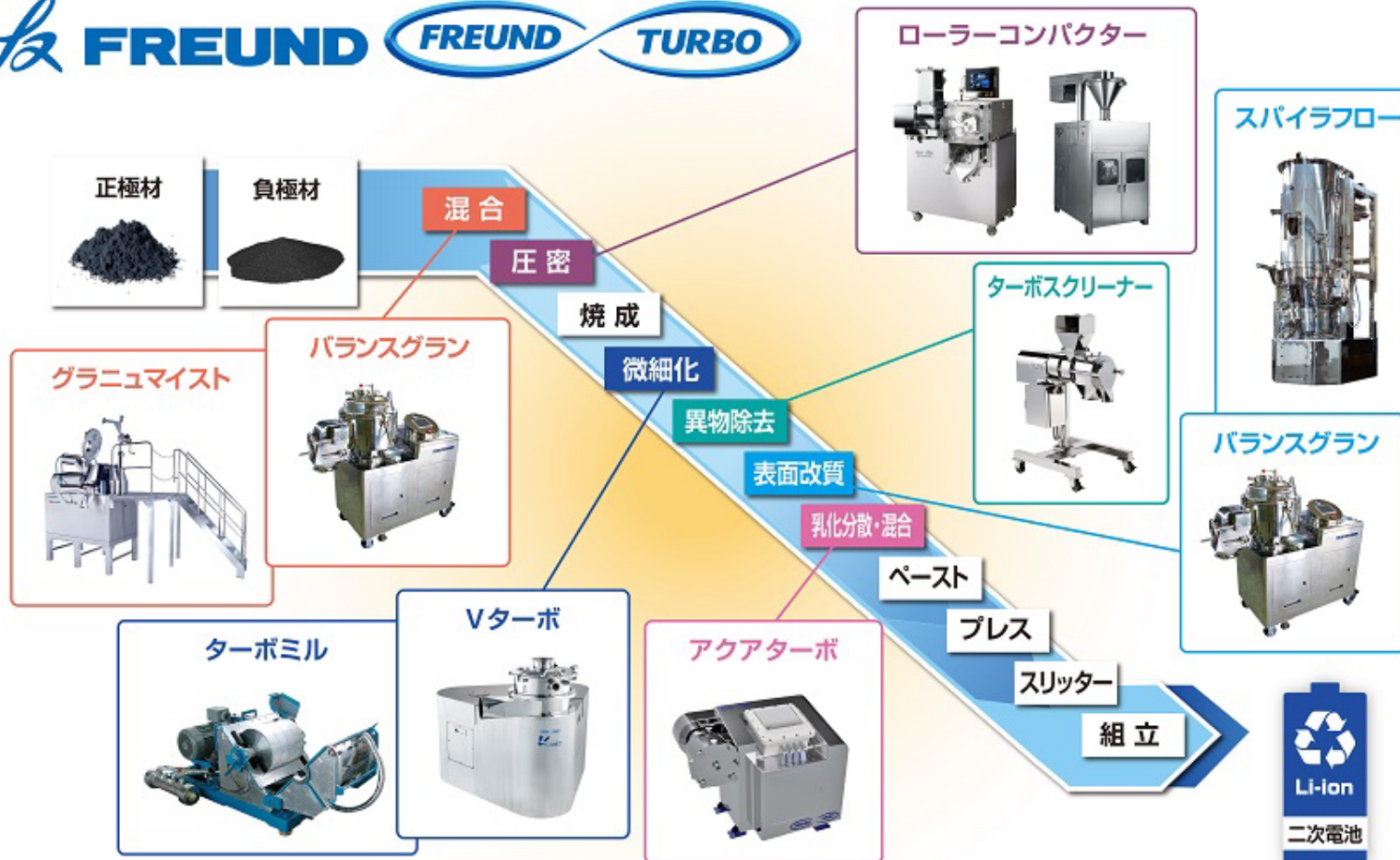
バランスグライン



V-ターボ



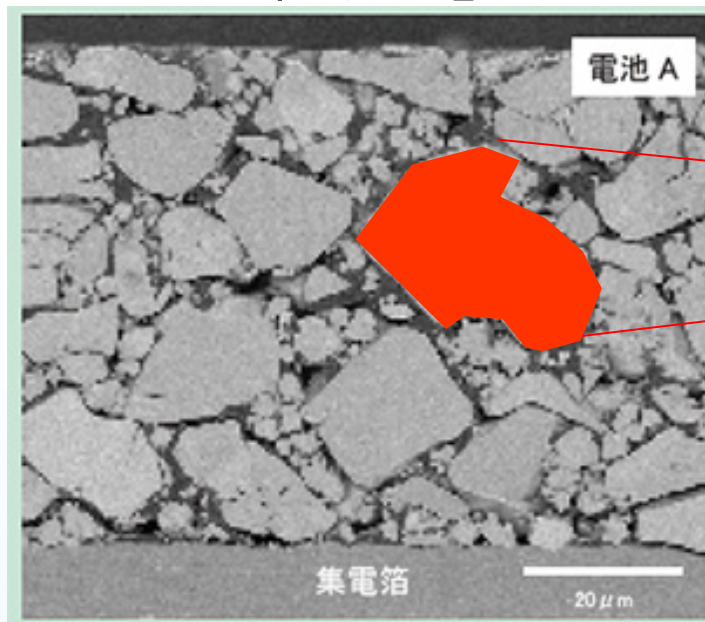
Lithium-ion Battery



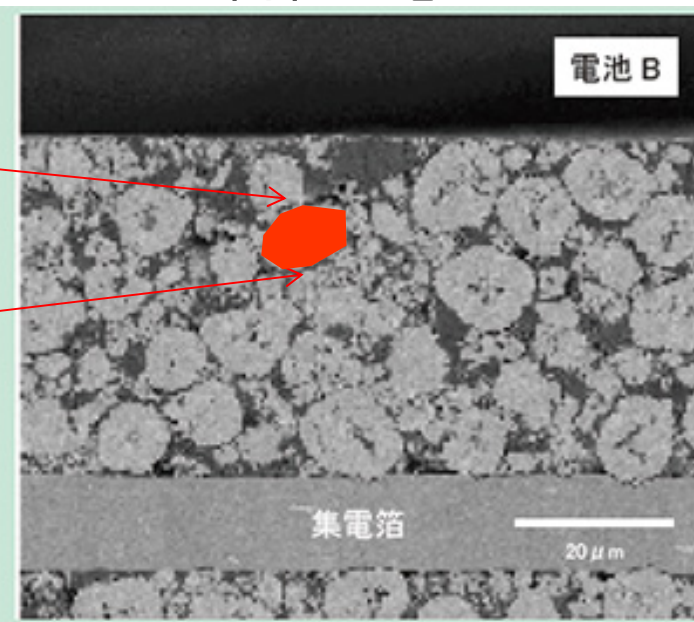
微細化は有効な高容量化への手段

- 粉砕技術において優れたフロイントグループの装置が高機能化の手段として用いられる

従来型電池



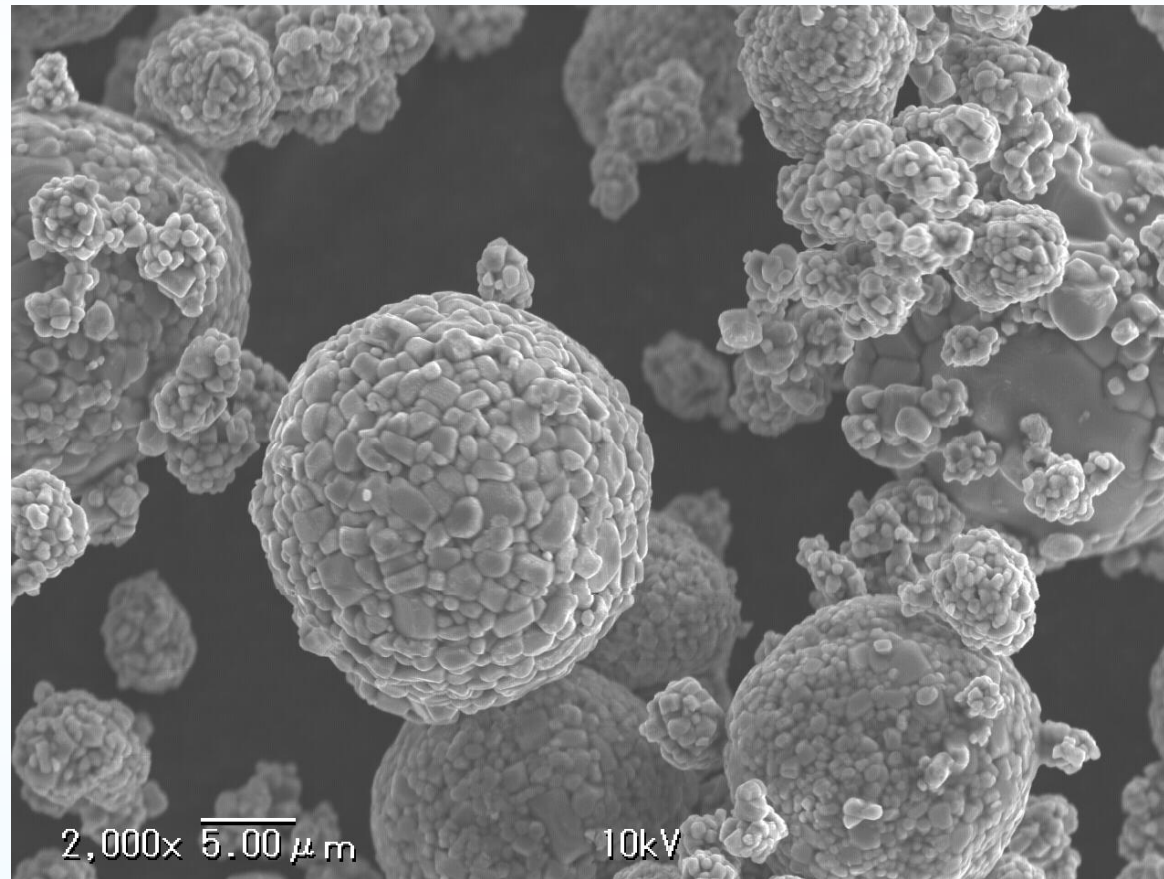
高容量電池



正極材：コーティング例

NCM[※] coated particle

医薬に比べ、より小さい粒子へのコーティング（～10nm）



※ N:ニッケル C:コバルト M:マンガン

産学共同開発

● 山形大学

xEV(電気自動車)飯豊(いいで)開発研究センター

日本最新のEV(電気自動車)向け次世代バッテリー開発の拠点



EV(電気自動車)向け次世代バッテリー開発



次世代全固体二次電池試作設備

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6890-0767
FAX:03-6890-0870
E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。